

地球惑星科学委員会国際連携分科会 INQUA 小委員会(第 25 期・第 2 回)議事要旨

日 時： 令和 4 年 9 月 7 日 (火) 11:00~12:00

会 場： 遠隔会議 (主催会場：島根大学)

出席者：春山成子、阿部彩子、小口 高、奥村晃史、齋藤文紀、佐藤宏之、諏訪 元、長谷部徳子、原田尚美、吾妻 崇、出穂雅実、岡田 誠、鈴木毅彦

欠席：川幡穂高、久保純子、佃栄吉、北里洋

議事内容

1) INQUA ローマ大会に向けての対応：

2023 年 7 月日にイタリア、ローマで開催される第 21 回国際第四紀連合大会で開催される国際評議員会への日本代表の候補者の正副 2 名を決定した。また、半年前までに推薦が行われる終生名誉会員について、日本からの候補者と資料作成の担当者を決定した。ローマ大会後の本部及び各委員会の役員の改選に向けて情報を共有することにした。

2) 日本学術会議シンポジウム：

日本学術会議の INQUA 小委員会 (以前は研連) では約 20 年に 1 回シンポジウムを主催し、単行本として取りまとめてきた。この 10 年間で考古・人類・古気候関係などで大きく研究が進展していることから、同分野を中心に今期中にシンポジウムを開催する。小委員会からは提案できないことから、INQUA 小委員会が所属する国際連携分科会に提案することになった。講演者の原案を、考古・人類関係は出穂委員が、古気候や古海水準などは齋藤委員が作成することになった。

3) 今期の活動について：

チバニアンに関する日本学術会議シンポジウム：IUGS 分科会が中心となり INQUA 小委員会も主催して 2022 年 5 月 24 日に開催された。

地質層序年代区分の「人新世」の提案に向けた現状が齋藤委員から報告があった。日本からは加三千宣愛媛大学准教授が中心となり、別府湾の提案が行われている。2023 年早々に SQS (第四紀層序小委員会) に AWG (人新世作業部会) から正式提案の予定である。